
プロジェクト発信型英語

Do Your Own Project In English

Real-life Projects in Academic Settings
Project-based English Program Textbook Lifelong Model
Designed for Global Language Exchange

Volume 2

Projects and Skills In Academic Settings

Yuji Suzuki

鈴木 佑治

南雲堂



NAN'UN-DO



社会で本当に役立つ英語 !!

プロジェクトの成果, TOEFL, TOEIC, TOEIC SW テストのスコア向上 !

プロジェクト発信型英語プログラム用テキスト - 英語にも日本語にも他の言語にも使える !

リアル・ライフ・プロジェクトを通して世界に発信し仲間づくりをしよう !

お互いに教え合う !

Lifelong Model 幼児から, 小学生, 大学生, 大学院生, 社会人まで !

ICTフル活用でいつでもどこでも !

はじめに

『Do Your Own Project In English Volume 2』は、『Do Your Own Project In English Volume 1』の続編です。Volume 1ではカジュアル・インフォーマルなセッティングでプロジェクトを行い、基本的なコミュニケーション・スキルを身につけます。Volume 2ではフォーマル・アカデミックなセッティングでプロジェクトを行い、アカデミックなコミュニケーション・スキルを身につけます。日本で一般的な中等学校と高等学校の英語教育を受けてきた大学生の多くは、日常会話さえままならないのが現状です。したがって、まず、Volume 1から始めて、日常生活で体験することを題材に自由にコミュニケーションできるようになってから、Volume 2のアカデミックなコミュニケーションに挑戦することを勧めます。

2008年4月に立命館大学びわこ・くさつ・キャンパス（BKC）にて開設された生命科学部・薬学部および2010年4月に開設されたスポーツ健康科学部の「プロジェクト発信型英語プログラム」では、学部生全員が1年次にVolume 1、引き続き、2年次でVolume 2を使用しています。1年次前期にVolume 1のPart Iの15 Unitsを、後期にPart IIの15 Unitsを終了し、ほぼ全員が、個々の関心事をテーマに独創性に富んだプロジェクトを敢行し、成果を英語で発信しています。1年次前期の初めには英語を話すことに不慣れであった学生が、学期の終わる頃までには人前で話せるようになったのみならず、クラスメートや周囲の人達の意見を聞きながらリサーチをして、それぞれ個性豊かな発信ができるようになりました。日常生活の趣味をテーマにプロジェクトを進めるうちに、生命科学や薬学の専門的なテーマに発展するケースも多々見られました。例えば、ペットの紹介に始まり動物の生命についてのプロジェクトにまで深めたもの、マジックに始まりヒトの認知能力の本質を探るプロジェクトに発展したものなど枚挙にいとまがありません。

Volume 1を引き継ぐVolume 2は、上記のような素晴らしい能力を持つ学生が引き続き能力を伸ばすことが出来るよう工夫されたものでなければなりません。無限の発信能力と創造力を内蔵していることに気づいた学生は、それに相応する高度でアカデミックな内容に挑戦しようという意欲に燃えます。勿論、学生の関心事を中心にプロジェクトを進めることには変わりはありません。2年次前期にVolume 2のPart Iを後期にPart IIを終了し、ほぼ全員が独自のテーマでプロジェクトを組み、ディベート、パネル・ディスカッションを行い、起承転結が鮮明なりサーチ・ペーパーを書いて成果を発表しています。このように、2冊のVolumeを通して、世界のどこへでも自分のメッセージを効果

的に発信できる能力を身につけることができます。授業やプレゼンテーションは<http://www.pep.sk.ritsumei.ac.jp/>, <https://ja-jp.facebook.com/ProjectBasedEnglishProgram>で
みることができます。

しかしながら、過去に留学などの海外在留の経験があるなどの理由で、すでに日常のコミュニケーションになんら不自由を感じない大学生は、Volume 2から始めてよいでしょう。ただし、筆者は1990年～2007年まで慶応義塾大学湘南藤沢キャンパスで、帰国子女の学生さんのクラスを担当したことがあります。彼らも進んでVolume 1にあるようなカジュアル・インフォーマルなプロジェクトを行い、日常生活の中で彼らしか持ちえない視点で様々なことを発見していました。彼らの1960年代の音楽やスポーツを取り上げたプロジェクトは、その後、社会学的な調査に結びついていきました。新しい視点は、卑近な生活の中から出てくるのがよくあります。その意味では、英語力の有る無しに関係なく、誰しも日常を振り返ることから後につながる面白いテーマが出てくるかもしれません。

2冊のVolumeのコンセプトを筆者の3人の恩師の言葉を借りて要約すると、「学生は未来からの留学生」（加藤寛先生）であり、現下はもちろんのこと未知の問題に挑戦しながら「学生と教員と一緒に学ぶ」（Walter A. Cook先生）、そして「問題発見・解決」（加藤寛先生）の過程を「英語で発信する」（鈴木孝夫先生）ことにつきます。

本書は2009年に郁文堂から出版された同名のテキストをノートブック型テキストとして全面的に書き直したものです。本書を書き直すにあたって、筆者の前任校である慶応義塾大学経済学部および湘南藤沢キャンパスの総合政策学部、環境情報学部、同大学大学院政策・メディア研究科で筆者の授業を履修した皆さんには、様々な示唆を受けました。また、立命館大学生命科学部、薬学部、スポーツ健康科学部で「プロジェクト発信型英語プログラム」を履修した皆さん、および、同プログラムで授業を担当されている先生方、また、以前担当された先生方、学部執行部の先生方、そして、絶えずサポートをしてくださっている事務局の方々に多大な感謝をいたします。これらの方々のコラボレーション無くしてこのようなテキストの開発はできません。

鈴木 佑治

2013年4月

Table of Contents

はじめに	4
PART I GROUP PROJECT AND PRESENTATION (DEBATE AND PANEL DISCUSSION)	
UNIT 1 Group project and presentation	10
Thinking about shared themes in the group グループで共通テーマを考えよう	
UNIT 2 Group project and presentation	16
Project groups プロジェクト・グループを作ろう	
UNIT 3 Group project and presentation	22
Learning expressions for group presentation グループ・プレゼンテーションの表現を学ぶ	
UNIT 4 Group project and presentation	28
How to conduct a debate and have a panel discussion ディベートとパネル・ディスカッションの方法	
UNIT 5 Group project and presentation	34
Debate—expressions and simulation ディベートの表現とシミュレーション	
UNIT 6 Group project and presentation	42
Debate—expressions and mini-debates ディベートの表現とミニ・ディベート (1)	
UNIT 7 Group project and presentation	46
Debate—expressions and mini-debates ディベートの表現とミニ・ディベート (2)	
UNIT 8 Group project and presentation	50
Panel discussion—expressions and simulation パネル・ディスカッションの表現とシミュレーション	
UNIT 9 Group project and presentation	56
Panel discussion—expressions and mini-panel discussions パネル・ディスカッションの表現とミニ・パネル・ディスカッション (1)	
UNIT 10 Group project and presentation	60
Panel discussion—expressions and mini-panel discussions パネル・ディスカッションの表現とミニ・パネル・ディスカッション (2)	
UNIT 11 Group project and presentation	64
Preparation for final presentation 最終発表の準備 (1)	
UNIT 12 Group project and presentation	68
Preparation for final presentation 最終発表の準備 (2)	
UNIT 13 Group project and presentation	72
Preparation for final presentation 最終発表の準備 (3)	
UNIT 14 Final group presentation	76
【最終発表】グループ・プレゼンテーション (1)	
UNIT 15 Final group presentation	80
【最終発表】グループ・プレゼンテーション (2)	

PART II ADVANCED PROJECT, ACADEMIC WRITING AND PRESENTATION

UNIT 16	Advanced project, academic writing and presentation	84
	What is an advanced project? アドバンス・プロジェクトとは	
UNIT 17	Advanced project, academic writing and presentation	90
	What is academic writing? アカデミック・ライティングとは	
UNIT 18	Advanced project, academic writing and presentation	96
	Prewriting—getting an idea through free writing Free writing を通してアイデアを練る	
UNIT 19	Advanced project, academic writing and presentation	102
	Prewriting—gathering information 情報を集める	
UNIT 20	Advanced project, academic writing and presentation	108
	Drafting—writing the introduction 序論を書く	
UNIT 21	Advanced project, academic writing and presentation	114
	Drafting—writing the main body 本論を書く (1)	
UNIT 22	Advanced project, academic writing and presentation	120
	Drafting—writing the main body 本論を書く (2)	
UNIT 23	Advanced project, academic writing and presentation	124
	Drafting—writing the main body 本論を書く (3)	
UNIT 24	Advanced project, academic writing and presentation	128
	Drafting—writing the conclusion 結論を書く	
UNIT 25	Advanced project, academic writing and presentation	132
	Drafting—proofreading and putting references 校正と参考文献の作成	
UNIT 26	Advanced project, academic writing and presentation	138
	Drafting—writing the abstract アブストラクトを書く	
UNIT 27	Advanced project, academic writing and presentation	142
	Preparation for academic presentation 最終発表の準備	
UNIT 28	Final academic presentation	150
	【最終発表】アカデミック・プレゼンテーション (1)	
UNIT 29	Final academic presentation	154
	【最終発表】アカデミック・プレゼンテーション (2)	
UNIT 30	Final academic presentation	158
	【最終発表】アカデミック・プレゼンテーション (3)	
APPENDIX		160
	クラスルーム・アレンジメント／数字の表現／スタイルシートの例 DEBATE EVALUATION SHEET／EVALUATION SHEET FOR PANEL DISCUSSION	

PART I

GROUP PROJECT AND PRESENTATION (DEBATE AND PANEL DISCUSSION)



UNIT 1

Group project and presentation

Thinking about shared themes in the group
グループで共通テーマを考えよう

UNIT 1 では次の2つのことをします。

1. グループ・プロジェクトに向けて、各自が取り組みたいプロジェクトの概要を発表し、意見を交換します。
2. グループで共通する問題 (issue) を探し出し、グループ・プロジェクトのテーマとグループ作りの準備をします。

クラスワーク

Step 1

全員が席を立ち、自由に移動してできるだけ多くの人と話しをしてみましょう。各自が取り組んでみたいプロジェクトについてお互いに意見を交換してみましょう。

Memorandums (Names/Key words/Questions/Comments)

Moderator _____

Speaker 1 _____

Speaker 2 _____

Speaker 3 _____

Speaker 4 _____

Speaker 5 _____

Step 2

取り組んでみたいプロジェクトの内容を整理し、どのように発展させるかを考え、その結果を2分程度で簡単に発表できるよう準備しましょう。

Memorandums

[illegible]

Step 3

1人ずつ前に出て発表します。Moderatorを決め、自己紹介をしてから始めましょう。発表を聞きながらメモを取り、グループ作りの準備をしましょう。

Memorandums (Names /Key words/Questions/Comments)

Moderator _____

Speaker 1 _____

Speaker 2 _____

Speaker 3 _____

Speaker 4 _____

Speaker 5 _____

Speaker 6 _____

Speaker 7 _____

Speaker 8 _____

Speaker 9 _____

Speaker 10 _____

Speaker 11 _____

Speaker 12 _____

Speaker 13 _____

Speaker 14 _____

Speaker 15 _____

Speaker 16 _____

Speaker 17 _____

Speaker 18 _____

Speaker 19 _____

Speaker 20 _____

Step 4

以下の表現を学び、使えるようにしましょう。下線部には表現を入れて完成させましょう。

1. リサーチの目的を述べる。

- (1) This study aims to compare two different cultures.
- (2) This research deals with some major causes of global warming.
- (3) The study attempts to examine Einstein's theory.

2. 先行研究を引用する。

- (1) Einstein (1905) proposed that mass and energy were linked by $E = mc^2$.
- (2) The investigation by Einstein (1905) demonstrates that _____
- (3) According to Einstein (1905), _____

3. 問題提示をする。

- (1) The central issue of our discussion is global warming.
- (2) What we are concerned with here is that _____
- (3) We will focus on the question of how the concept of neutrality has been changed.

Tip

オンライン上に無料の辞書がありますので活用してみましょ。難しい語の発音を聞くことができます。
Weblio (<http://www.weblio.jp>)
Cambridge Dictionaries Online (<http://www.dictionary.cambridge.org>)





クラス外ワーク

- ## グループワーク
1. 今回のクラス内で発表した内容をもう一度整理し、各自気づいた点を 150 words 程度の英文で指定された Web サイトにアップしましょう。Step 4 で練習した表現を使ってみましょう。
 2. 他のメンバーが書いたものを読み、コメントをしてみましょう。特に自分と共通点があると思える人を探し、グループ作りの準備をしましょう。

Memorandums

[illegible]